

平成23年度 大分県登録販売者試験

《 午後 の 部 》

【注意事項】

1. 試験時間は、13時30分から15時30分までの2時間です。
2. 必ず解答用紙に受験番号・氏名を記入して下さい。
3. 解答は、すべて解答用紙に記入して下さい。
4. 退室は14時30分までできません。14時30分以降退室するときは、必ず解答用紙は裏返しにして机の上に置き、荷物を持って退室して下さい。問題用紙は持ち帰ってもかまいません。
5. 印刷等の文字が不鮮明なときは、黙って手をあげて下さい。ただし、試験問題内容についての質問には一切応じられません。
6. 電卓や計算機能付きの時計は、使用できません。
7. 試験監督者の指示に従って下さい。

大 分 県

受 験 番 号	氏 名

【主な医薬品とその作用】

問6 1

かぜ薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア かぜ薬は、ウイルスの増殖を抑えたり、体内から取り除くものである。
- イ サリチルアミドを含むかぜ薬は、インフルエンザ又は水痘（水疱瘡）にかかっている15歳未満の小児への使用を避ける必要がある。
- ウ かぜ薬の副作用として、喘息や間質性肺炎が起ることはない。
- エ かぜ薬の服用期間中は、酒類の摂取を控える必要がある。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

問6 2

解熱鎮痛薬の成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア アスピリンは医療用医薬品では、血栓ができやすい人に対する血栓予防薬の成分としても用いられている。
- イ アセトアミノフェンは、他の解熱鎮痛成分に比べて、胃腸障害が起りやすいとされている。
- ウ イブプロフェンは、体内でのプロスタグランジンの産生を抑える作用により、消化管粘膜の防御機能を低下させる。
- エ シャクヤクは、鎮痛鎮痙作用、鎮静作用を示し、内臓の痛みにも用いられる。

- | | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |
| 2 | 正 | 誤 | 正 | 正 |
| 3 | 誤 | 正 | 正 | 正 |
| 4 | 誤 | 誤 | 正 | 誤 |
| 5 | 誤 | 誤 | 誤 | 正 |

【主な医薬品とその作用】

問63

ビタミン成分に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア ビタミンCは、夜間視力を維持したり、皮膚や粘膜の機能を正常に保つために重要な栄養素である。

イ ビタミンEは、下垂体や副腎系に作用してホルモン分泌の調節に関与するとされている。

ウ ビタミンDは、腸管でのカルシウム吸収及び尿細管でのカルシウム再吸収を促して、骨の形成を助ける栄養素である。

エ ビタミンB1は、赤血球の形成を助け、また、神経機能を正常に保つために重要な栄養素である。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

問64

以下の健胃薬に含まれる生薬成分のうち、香りによる健胃作用を期待して用いられる成分を一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 オウバク
- 2 センブリ
- 3 ゲンチアナ
- 4 ユウタン
- 5 ケイヒ

【主な医薬品とその作用】

問 6 5

以下の記述に当てはまる漢方処方製剤として、最も適切なものを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

比較的体力があり、のぼせがみで顔色が赤く、いらいらする傾向のある人における、鼻出血、不眠症、ノイローゼ、胃炎、二日酔い、血の道症、めまい、動悸^きの症状に適すとされるが、体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）では不向きとされる。

鼻出血、二日酔いに用いられる場合には、漫然と長期の使用は避け、5～6回使用しても症状の改善がみられないときは、いったん使用を中止して専門家に相談することが望ましい。

- 1 だいさいことう 大柴胡湯
- 2 おうれんげどくとう 黄連解毒湯
- 3 ぼうふうつうしゅうさん 防風通聖散
- 4 せいじょうぼうふうとう 清上防風湯
- 5 ぼういおうぎとう 防已黄耆湯

問 6 6

妊娠検査薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 一般的な妊娠検査薬は、月経予定日が過ぎて概ね1週目以降の検査が推奨されている。
- イ 検体としては、ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン（hCG）が検出されやすい早朝尿（起床直後の尿）が向いているが、尿が濃すぎると、かえって正確な結果が得られないこともある。
- ウ 子宮外妊娠や胎状奇胎などを生じている場合には、妊娠しているにもかかわらず検査結果が陰性となることがある。
- エ 妊娠検査薬は、その結果をもって直ちに妊娠しているか否かを断定することはできない。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	正	正

【主な医薬品とその作用】

問 6 7

以下の殺菌消毒薬に配合される成分のうち、結核菌を含む一般細菌類、真菌類、ウイルスに対して殺菌消毒作用を示す成分として、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 オキシドール
- 2 アクリノール
- 3 グルコン酸クロルヘキシジン
- 4 マーキュロクロム
- 5 ポビドンヨード

問 6 8

アレルギー用薬に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 塩酸プソイドエフェドリンは、他のアドレナリン作動成分に比べて中枢神経系に対する作用が弱く、副作用として不眠や神経過敏が現れることはない。
- 2 塩酸ジフェンヒドラミンは、抗ヒスタミン作用以外に抗コリン作用も示すため、排尿困難等の副作用が現れることがある。
- 3 フマル酸クレマスチンは、交感神経系を刺激して鼻粘膜の血管を収縮させることによって、鼻粘膜の充血や腫れ^はを和らげることを期待して用いられる。
- 4 ベラドンナは、その根茎や根に、交感神経系の働きを抑える作用を示すアルカロイドを豊富に含む。

【主な医薬品とその作用】

問 6 9

以下の記述に当てはまる漢方処方製剤として、最も適切なものを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

疲れやすく、四肢が冷えやすく、尿量減少又は多尿で、ときに口渇がある人における、下肢痛、腰痛、しびれ、老人のかすみ目、^{かゆ}痒み、排尿困難、頻尿、むくみの症状に適すとされるが、胃腸の弱い人、下痢しやすい人では、食欲不振、胃部不快感、腹痛、下痢の副作用が現れるおそれがあるため使用を避ける必要があり、また、のぼせが強く赤ら顔で体力の充実している人では、のぼせ、^き動悸等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。

- 1 はちみじおうがん 八味地黄丸
- 2 りゅうたんしゃかんとう 竜胆瀉肝湯
- 3 まおうとう 麻黄湯
- 4 じゅうみはいどくとう 十味敗毒湯
- 5 ちょれいとう 猪苓湯

問 7 0

強心薬に配合されている成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア センソが配合された丸薬、錠剤等の内服固形製剤は、口中で^か噛み砕いて服用するほうがよい。
- イ ジャコウは、強心作用のほか、呼吸中枢を刺激して呼吸機能を高めたり、意識をはっきりさせる等の作用があるとされる。
- ウ リュウノウは、中枢神経系の刺激作用による気つけの効果を期待して用いられる。
- エ シンジュは、心筋に直接刺激を与え、その収縮力を高める作用を期待して用いられる。

- | | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |
| 2 | 正 | 誤 | 正 | 正 |
| 3 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 4 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 5 | 誤 | 誤 | 誤 | 誤 |

【主な医薬品とその作用】

問 7 1

鎮咳去痰薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア リン酸コデインは、依存性がある成分であり、長期連用や大量摂取によって倦怠感や虚脱感、多幸感等が現れることがある。
- イ 塩酸メチルエフェドリンは、気道粘膜からの粘液分泌を促進する作用を示す。
- ウ 塩化セチルピリジニウム等の殺菌消毒成分が配合されているトローチ剤やドロップ剤は、噛み砕いて飲み込むほうが、より殺菌消毒作用が期待できる。
- エ キョウニン^{ずい}は、体内で分解されて生じた代謝物の一部が、延髄^{がいそう}の呼吸中枢、咳嗽中枢を鎮静させる作用を示すとされる。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

問 7 2

以下の口腔咽喉薬に含まれる成分のうち、咽頭部の炎症を和らげることを目的として通常用いられるものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 塩化ベンゼトニウム
- 2 塩酸クロルヘキシジン
- 3 塩化デカリニウム
- 4 塩化リゾチーム
- 5 ハッカ

【主な医薬品とその作用】

問 7 3

痔疾用薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 血管収縮作用による止血効果を期待して、タンニン酸が用いられる。
- イ リドカインが配合された坐剤及び注入軟膏は、まれに重篤な副作用としてショック（アナフィラキシー）を生じることがある。
- ウ 痔疾患に伴う局所の感染を防止することを目的として、メントールが配合されている。
- エ 一般用医薬品の痔疾用薬には、肛門部又は直腸内に適用する外用薬と内服して使用する内用薬がある。

- 1 (ア、ウ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (イ、エ)

問 7 4

以下の鎮暈薬成分のうち、胃粘膜への麻酔作用によって嘔吐刺激を和らげ、乗物酔いに伴う吐き気を抑えることを目的として配合されているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 アリルイソプロピルアセチル尿素
- 2 アミノ安息香酸エチル
- 3 塩酸ジフェニドール
- 4 ジメンヒドリナート
- 5 カフェイン

【主な医薬品とその作用】

問 7 5

高コレステロール改善薬に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 高コレステロール改善薬は、血中コレステロール異常の改善、血中コレステロール異常に伴う末梢血行障害（手足の冷え、痺れ）の緩和等を目的として使用される医薬品である。
- 2 リノール酸は、コレステロールと結合して、代謝されやすいコレステロールエステルを形成するとされ、肝臓におけるコレステロールの代謝を促す効果を期待して用いられる。
- 3 パンテチンは、肝臓におけるコレステロール代謝を正常化する働きがあるとされ、低密度リポ蛋白質（LDL）の分解を促し、また、高密度リポ蛋白質（HDL）が形成される過程に働いて、HDLを増加させる効果を期待して用いられる。
- 4 リボフラビンは、過酸化脂質と結合し、その代謝を促す作用を期待して配合されているが、摂取によって尿が黄色くなった場合は、ただちに使用を中止する必要がある。

問 7 6

かぜ薬成分とその主な作用の関係について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

成 分	主 な 作 用
ア トラネキサム酸	－ 体内での炎症物質の産生を抑えることで炎症の発生を抑え、腫れを和らげる。
イ 塩酸エチルシステイン	－ 鼻粘膜の充血を和らげ、気管・気管支を広げる。
ウ 塩酸ブロムヘキシン	－ 鼻粘膜や喉の炎症による腫れを和らげる。
エ セミアルカリプロテイナーゼ	－ 蛋白質分解酵素で、体内で産生される炎症物質（起炎症性ポリペプチド）を分解する。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 7 7

以下の胃の薬に配合される成分のうち、胃粘膜の炎症を和らげることを目的として用いられるものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 グリチルリチン酸二カリウム
- 2 ウルソデオキシコール酸
- 3 塩酸ピレンゼピン
- 4 リパーゼ
- 5 ケイ酸マグネシウム

問 7 8

ステロイド性抗炎症成分に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 外皮用薬で用いられるステロイド性抗炎症成分は、広範囲に生じた皮膚症状や、慢性の湿疹・皮膚炎を対象とするものである。
- 2 外用の場合は、末梢組織（患部局所）におけるプロスタグランジンなどの炎症を引き起こす物質の産生を抑える。
- 3 好ましくない作用として、末梢組織の免疫機能を低下させる作用を示す。
- 4 主なステロイド性抗炎症成分としては、吉草酸酢酸プレドニゾロン、ヒドロコルチゾン等がある。

【主な医薬品とその作用】

問 79

禁煙補助剤の咀^{そしゃく}嚼剤に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア ゆっくりと断続的に嚙^かむこととされている。
- イ 顎^{あご}の関節に障害がある人は、使用を避ける必要がある。
- ウ 非喫煙者では、一般にニコチンに対する耐性がないため、吐き気、めまい、腹痛などの症状が現れやすく、誤って使用されることのないよう留意される必要がある。
- エ 妊婦又は妊娠していると思われる女性、母乳を与える女性では、使用を避ける必要がある。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	誤	誤	正
3	誤	正	誤	誤
4	誤	誤	正	誤
5	誤	誤	誤	正

問 80

眼科用薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 人工涙液は、涙液成分を補うことを目的とするもので、目の疲れや乾き、コンタクトレンズ装着時の不快感等に用いられる。
- イ 洗眼薬は、目の洗浄、眼病予防（水泳のあと、埃や汗が目に入ったとき等）に用いられるもので、主な配合成分として涙液成分のほか、抗炎症成分、抗ヒスタミン成分等が用いられる。
- ウ 一般用医薬品の点眼薬には、緑内障の症状を改善できるものもある。
- エ 点眼薬を一定期間使用して症状の改善がみられない場合であっても、使用を継続する必要がある。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 8 1

以下の解熱鎮痛成分のうち、サリチル酸系の解熱鎮痛成分であるものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア サリチルアミド
- イ イソプロピルアンチピリン
- ウ サザピリン
- エ イブプロフェン

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

問 8 2

鎮咳去痰薬に配合される生薬成分に関する以下の組み合わせについて、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 ゴミシ — マツブサ科のチョウセンゴミシの果実を用いた生薬で、鎮咳^{がい}作用を期待して用いられる。
- 2 オウヒ — バラ科のヤマザクラ又はその同属植物の樹皮を用いた生薬で、去痰^{たん}作用を期待して用いられる。
- 3 セキサシ — メギ科のナンテンの果実を用いた生薬で、鎮咳^{がい}作用を期待して用いられる。
- 4 バクモンドウ — ユリ科のジャノヒゲ又はその同属植物の根の膨大部を用いた生薬で、鎮咳^{がい}、去痰^{たん}、滋養強壮等の作用を期待して用いられる。
- 5 オンジ — ヒメハギ科のイトヒメハギの根を用いた生薬で去痰^{たん}作用を期待して用いられる。

【主な医薬品とその作用】

問 8 3

以下の皮膚に使用される成分のうち、角質層の水分保持量を高め、皮膚の乾燥を改善することを目的に用いられるものとして、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 オリーブ油
- 2 グリセリン
- 3 イオウ
- 4 尿素
- 5 白色ワセリン

問 8 4

^{がい たん}鎮咳去痰薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 塩酸トリメトキノールは、交感神経を刺激して気管支を拡張させ、呼吸を楽にして咳や喘息の^{せき ぜん}症状を鎮める。
- イ ^{がい}鎮咳成分である臭化水素酸デキストロメトルファンは、延髄の^{ずい がいそう}咳 嗽中枢に作用する。
- ウ グアイフェネシンは、気道の炎症を和らげる抗炎症成分である。
- エ カンゾウは、大量に摂取すると、偽アルドステロン症を起こすおそれがあるため、注意が必要である。

- | | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 正 | 誤 |
| 2 | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| 3 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| 4 | 誤 | 正 | 誤 | 誤 |
| 5 | 誤 | 誤 | 正 | 正 |

【主な医薬品とその作用】

問 8 5

胃腸に作用する薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 制酸薬は、胃液の分泌低下による症状の緩和を目的とする。
- イ 制酸作用成分と健胃作用成分は、同時に配合されることはない。
- ウ 下痢を起こした場合、止瀉薬^{しや}を常に使用すべきである。
- エ 刺激性瀉下成分を主体とする瀉下薬^{しや}は、常用を避ける必要がある。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	正
3	誤	正	正	誤
4	誤	誤	誤	正
5	誤	誤	誤	誤

問 8 6

尿糖・尿蛋白^{たん}検査薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 尿糖の場合、原則として早朝尿（起床直後の尿）を検体とする。
- イ 通常、尿は弱アルカリ性であるが、食事その他の影響で中性～弱酸性に傾くと、正確な検査結果が得られなくなることがある。
- ウ 出始めの尿^{たん}を採取して検査がなされることが望ましい。
- エ 尿糖・尿蛋白^{たん}検査薬は、尿中の糖や蛋白質の有無を調べるものであり、その結果をもって直ちに疾患の有無や種類を判断することはできない。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	誤	正

【主な医薬品とその作用】

問 8 7

以下の漢方処方製剤のうち、カンゾウを含まないものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 香蘇散こうそさん
- 2 小青竜湯しょうせいりゅうとう
- 3 桂枝湯けいしとう
- 4 柴胡桂枝湯さいこけいしとう
- 5 半夏厚朴湯はんげこうぼくとう

問 8 8

瀉下薬しゃに関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア ピコスルファートナトリウムは、胃や小腸では分解されないが、大腸に生息する腸内細菌によって分解されて、大腸への刺激作用を示す。
- イ ヒマシ油は、防虫剤や殺鼠剤そを誤って飲み込んだ場合のような脂溶性の物質による中毒に効果的である。
- ウ センナが配合された瀉下薬しゃは、吸収された成分の一部が乳汁中に移行することで乳児に下痢を生じるおそれがあるため、母乳を与える女性では使用を避けるか、又は使用期間中の授乳を避ける必要がある。
- エ 酸化マグネシウムは、腸内容物の浸透圧を高めることにより糞便中の水分量を増し、排便を促す。

- | | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 正 | 正 |
| 2 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |
| 3 | 正 | 誤 | 正 | 正 |
| 4 | 誤 | 誤 | 正 | 誤 |
| 5 | 誤 | 誤 | 誤 | 正 |

【主な医薬品とその作用】

問 89

傷口等の殺菌消毒成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア アクリノールは、比較的刺激性が強く、創傷患部にしみやすい。
イ エタノールは、皮膚刺激性が弱いため、脱脂綿やガーゼに浸して患部に貼付することが推奨される。
ウ 塩化ベンザルコニウムは、石^{けん}鹼との混合により殺菌消毒効果が低下する。
エ マーキュロクロムは、ヨードチンキと混合すると殺菌作用が低下する。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	正
4	誤	誤	正	正
5	誤	誤	誤	誤

問 90

殺虫剤及び忌避剤に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ピレスロイド系殺虫成分であるフェノトリンは、シラミ駆除を目的とする製品の場合、殺虫成分で唯一人体に直接適用されるものである。
- 有機リン系殺虫成分は、アセチルコリンを分解する酵素（コリンエステラーゼ）と不可逆的に結合し、その酵素の働きを高めることによって、殺虫効果を現す。
- 殺虫剤の使用に当たっては、殺虫効果を高めるため、同じ殺虫成分を長期間連用することが望ましい。
- ディートを含有する忌避剤は、生後6ヶ月未満の乳児については、1日2回の使用限度を守って使用する必要がある。

【主な医薬品とその作用】

問 9 1

皮膚に用いる薬に関する以下の組み合わせについて、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

成 分	期 待 さ れ る 主 な 作 用
1 塩酸ナファゾリン	－ 患部の蛋白質と結合して皮膜を形成し、皮膚を保護する。
2 ポリエチレンスルホン酸ナトリウム	－ 損傷皮膚の組織修復を促す。
3 ニコチン酸ベンジル	－ 創傷面からの出血を抑える。
4 酸化亜鉛	－ 患部局所の血行を促す。
5 ユーカリ油	－ 皮膚表面に冷感刺激を与え、反射的な血管の拡張による患部の血行を促す。

問 9 2

解熱鎮痛薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 発熱について、発疹や痒みなどの皮膚症状を伴っている場合や、発熱が1週間以上続いているような場合には、自己判断で一般用医薬品である解熱鎮痛薬を用いて安易に熱を下げることで、かえって発熱の原因である病気をこじらせるおそれがある。
- イ 通常、38℃以下の発熱であっても、ひきつけや著しい体力消耗のおそれがあることから平熱になるまで解熱鎮痛薬を使用する必要がある。
- ウ 月経痛（生理痛）については、年月の経過に伴って次第に増悪していくような場合には、子宮内膜症等の病気の可能性があり、一般用医薬品である解熱鎮痛薬によって自己治療を図るのではなく、医療機関を受診することが望ましい。
- エ 解熱鎮痛薬は、頭痛の症状が現れないうちに予防的に使用することが望まれる。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 9 3

毛髪用薬に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 毛髪用薬は、脱毛の防止、育毛、ふけや痒^{かゆ}みを抑えること等を目的としたものである。
- 2 チクセツニンジン^{チクセツニンジン}は、頭皮における脂質代謝を高めて、余分な皮脂を取り除く作用を期待して用いられる。
- 3 「壮年性脱毛症」「円形脱毛症」等の疾患名を掲げた効能・効果は、医薬品においてのみ認められている。
- 4 毛髪用薬として、女性ホルモン成分が配合されていることがある。

問 9 4

以下の女性ホルモンの一種であるエストラジオールに関する記述について、() の中に入れるべき字句を下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

エストラジオールの長期連用により、() を生じるおそれがあるため、定期的な検診を受けることが望ましい。

- 1 高脂血症
- 2 貧血
- 3 血栓症
- 4 肺結核
- 5 更年期障害

【主な医薬品とその作用】

問 9 5

胃腸に作用する薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 健胃薬や整腸薬には医薬部外品として製造販売されている製品はない。
- イ 健胃薬は、胃液の分泌亢進による胃酸過多や、それに伴う吐き気等の症状を緩和することを目的とする。
- ウ 消化薬は、炭水化物、脂質、蛋白質等の分解に働く酵素を補う等により、胃や腸の内容物の消化を助けることを目的とする。
- エ 過剰な胃液の分泌を抑える作用を期待して、ロートエキスが配合されている場合がある。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

問 9 6

以下の医薬品成分のうち、ステロイド性抗炎症成分として、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 ブフェキサマク
- 2 イブプロフェンピコノール
- 3 フェルビナク
- 4 サリチル酸グリコール
- 5 デキサメタゾン

【主な医薬品とその作用】

問 9 7

殺菌消毒成分に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア エタノールは、一般細菌類、真菌類に対する殺菌消毒作用を示すが、結核菌には作用を示さない。
- イ オキシドールは、過酸化水素を成分とし、発生する水素の還元作用によって殺菌効果を示す。
- ウ ポビドンヨードは、ヨウ素に対し、アレルギー既往歴のある患者には使用を避ける必要がある。
- エ イソプロピルメチルフェノールは、細菌や真菌類の蛋白質を変性させることにより殺菌消毒作用を示し、患部の化膿を防ぐことを目的として用いる。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

問 9 8

点眼薬の使用方法に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 結膜囊の容積は約 $50 \mu\text{L}$ であるのに対し、1滴の薬液の量は約 $30 \mu\text{L}$ であることから、効果を得るためには一度に数滴点眼する必要がある。
- イ 点眼後は、数秒間、眼瞼（まぶた）を閉じ、目頭を軽く押さえると薬液が鼻腔内に流れ込むのを防ぐことができ、効果的である。
- ウ コンタクトレンズを装着したままでの点眼は、添付文書に使用可能と記載されていない限り行わないことが望ましい。
- エ 眼科用薬には、副作用として、目の充血や痒み、腫れが現れることがあるが、全身性の副作用が現れることはない。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 9 9

胃や腸に作用する薬に関する以下の記述について、() の中に入れるべき字句の適切な組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

制酸成分である炭酸水素ナトリウムは、酸度の高い食品である (ア) 等での服用は適当でない。

胃粘膜保護・修復成分である (イ) はアルミニウムを含む成分であるため、透析を受けている人では使用を避ける必要がある。また、(ウ) については、まれに重篤な副作用として肝機能障害を生じることがある。肝臓病の診断を受けた人は、使用する前にその適否につき、治療を行っている医師又は処方薬の調剤を行った薬剤師に相談することが望ましい。

	ア	イ	ウ
1	炭酸飲料	アルジオキサ	テプレノン
2	炭酸飲料	ジアスターゼ	テプレノン
3	炭酸飲料	アルジオキサ	ジメチルポリシロキサン
4	緑茶	ジアスターゼ	ジメチルポリシロキサン
5	緑茶	アルジオキサ	ジメチルポリシロキサン

問 1 0 0

催眠鎮静薬の配合成分として用いられるブロムワレリル尿素に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 抗ヒスタミン成分であり、脳の下部での睡眠・覚醒せいに関する部位の神経細胞への刺激の発生を抑制することで眠気を促す。
- 2 胎児障害の可能性がないため、妊婦の不眠障害に適している。
- 3 反復して摂取すると依存を生じるおそれがある。
- 4 大量摂取による急性中毒が、代表的な薬物中毒の一つとなったため、催眠鎮静薬以外の一般用医薬品には配合されていない。

【薬事関係法規・制度】

問101

薬局に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 薬局では、医薬品の調剤と併せて、店舗により医薬品の販売を行うことが認められている。
- イ 薬局開設者は、必ず自らがその薬局を実地に管理しなければならない。
- ウ 薬局開設者は、不特定の購入者への販売に供するため医薬品を予め分包しておくことはできない。
- エ 調剤を行う薬局は、医療法の医療提供施設に位置づけられていない。

1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

問102

店舗販売業に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 店舗販売業者は、当該店舗を利用するために必要な情報を店舗の見やすい場所に掲示しなければならない。
- イ 店舗管理者は、当該店舗を実地に管理しなくてもよい。
- ウ 店舗販売業者が、配置による販売の方法で医薬品を販売する場合には、別途、配置販売業の許可を受ける必要がある。
- エ 店舗販売業者は、薬剤師が従事していれば、一般用医薬品以外の医薬品を販売してもよい。

1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【薬事関係法規・制度】

問103

配置販売業に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア 配置販売業者は、その住所地の都道府県で配置販売業の許可を受ければ、全国どこでも医薬品を配置販売してよい。

イ 配置販売業者は、すべての一般用医薬品を販売できる。

ウ 配置販売業者は、第三類医薬品を開封して分割販売してはならない。

エ 配置員は、配置しようとする区域が複数の都道府県にまたがる場合、それぞれの都道府県知事が発行する身分証明書の交付を受けなければ、医薬品の配置販売に従事してはならない。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	正
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	誤

問104

医薬品の販売に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア 店舗による販売とは、必ずしも店頭における販売に限られるものではない。

イ 店舗販売業者は、特定の購入者の求めに応じて、毒薬又は劇薬以外の医薬品を開封して分割販売することができる。

ウ キャラクターグッズ等の景品類を提供して医薬品を販売することに関しては、不当景品類及び不当表示防止法の限度内であっても認められない。

エ 店舗販売業者は、登録販売者に第二類医薬品を販売させてはならない。

1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【薬事関係法規・制度】

問105

一般用医薬品に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 一般用医薬品は、通常、医療機関を受診するほどではない体調の不調や疾病の初期段階において使用されるものである。
- イ 一般用医薬品の用法では、注射等の侵襲性の高い使用方法は用いられない。
- ウ 一般用医薬品の効能効果は、一般の生活者が判断できる症状で示されている。
- エ 一般用医薬品は、その効能及び効果において人体に対する作用が著しくないものである。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	誤	正

問106

毒薬又は劇薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 毒薬及び劇薬は、薬効が期待される摂取量（薬用量）と中毒のおそれがある摂取量（中毒量）が接近しており安全域が狭いため、一般用医薬品で毒薬又は劇薬に該当するものはない。
- イ 劇薬を貯蔵、陳列する場所にかぎを施さなければならない。
- ウ 毒薬又は劇薬を、14歳未満の者その他安全な取扱いに不安のある者に交付することは禁止されている。
- エ 劇薬は、その直接の容器又は直接の被包に、白地に赤枠、赤字をもって、その品名及び「劇」の文字が記載されていなければならない。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【薬事関係法規・制度】

問107

一般用医薬品のリスク区分及び情報提供に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 店舗販売業者は、第二类医薬品を販売する場合には、厚生労働省令で定める事項を記載した書面を用いて、薬剤師をして、その適正な使用のために必要な情報を提供させなければならない。
- イ 店舗販売業者は、第三類医薬品について購入者から相談があった場合には、薬剤師又は登録販売者をして、その適正な使用のために必要な情報を提供させなければならない。
- ウ 店舗販売業者は、一般用医薬品を効能効果ごとに陳列すれば、リスク区分ごとに陳列する必要はない。
- エ 一般用医薬品のリスク区分は、安全性に関する新たな知見や副作用の発生状況等を踏まえ、適宜見直しが図られる。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

問108

医薬品に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 医薬品は、厚生労働大臣により製造業の許可を受けた者でなければ製造販売してはならない。
- イ 医薬品を製造販売するには、全て品目ごとに厚生労働大臣の承認を受けなければならない。
- ウ 現在のところ、生物由来製品として指定された一般用医薬品はない。
- エ 医薬品には、動物の身体の構造又は機能に影響を及ぼすことが目的とされている物もある。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【薬事関係法規・制度】

問109

医薬部外品に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 医薬部外品は、販売業の許可を受けなければ、一般小売店において販売することができない。
- イ 医薬部外品のうち、衛生害虫類の防除のために使用される製品群やかつては医薬品であったが医薬部外品へ移行された製品群については、各製品の容器に識別表示をしなければならない。
- ウ 医薬部外品は、その効能効果が予め定められた範囲内であって、成分や用法等に照らして人体に対する作用が緩和であることを要件として、医薬品的な効能効果を標榜^{ぼう}することが認められている。
- エ 医薬部外品を業として製造販売する場合には、原則として、製造販売業の許可及び品目ごとに承認を得る必要がある。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	正
5	誤	誤	誤	正

問110

薬事法に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 購入者と専門家がある場で直接やりとりを行うことができる「対面販売」が、一般用医薬品の販売にあたっての原則となっている。
- イ 日本薬局方とは、薬事法第41条の規定に基づいて、都道府県知事が医薬品の性状及び品質の適正を図るため、保健医療上重要な医薬品について、必要な規格・基準及び標準的試験法等を定めたものである。
- ウ 店舗販売業者は、その店舗の管理者を指定したときは、管理者の意見を尊重しなければならない。
- エ 医薬品と併せて、医薬部外品の販売が行われる場合には、医薬品と医薬部外品を区別して貯蔵又は陳列する必要はない。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 1

以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 食品として販売等されている製品であっても、その成分本質、効能効果の標榜^{ぼう}内容等に照らして医薬品とみなされる場合には、無承認無許可医薬品として取締りの対象となる。
- イ アンプル剤、舌下錠の形状については、食品である旨が明記されている場合に限り、当該形状のみをもって医薬品への該当性の判断がなされることはない。
- ウ 特別用途食品は、健康増進法の規定に基づき、許可を受けた表示内容を表示したものであり、原則として、一般の生活者が医薬品としての目的を有するものであるとの誤った認識を生じるおそれはないものとされている。
- エ 特定保健用食品や栄養機能食品の表示については、薬事法に規定されている。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

問 1 1 2

配置販売業に関する以下の記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

(ア)は、保健衛生上支障を生ずるおそれがないように、その業務に関し配置員を監督するなど、その(イ)の業務につき、必要な注意をしなければならない。

- | | ア | イ |
|---|-------|----|
| 1 | 配置管理者 | 店舗 |
| 2 | 配置管理者 | 区域 |
| 3 | 区域管理者 | 店舗 |
| 4 | 区域管理者 | 区域 |
| 5 | 店舗管理者 | 店舗 |

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 3

薬事法に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 卸売販売業は、医薬品を薬局や他の医薬品の販売業、製薬企業又は医療機関等に対して販売等する業態である。
- イ 既存の一般用医薬品と有効成分、分量、用法用量、効能効果等が明らかに異なる新一般用医薬品は、承認後の一定期間、第二类医薬品に分類される。
- ウ 化粧品には、原則として医薬品の成分を配合してはならないこととされており、配合が認められる場合にあっても、添加物として使用されているなど、薬理作用が期待できない量以下に制限されている。
- エ 医薬品の製造販売業者が、その輸入した医薬品を薬局開設者や医薬品の販売業者へ販売を行う場合には、販売業の許可を受ける必要はない。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	正
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	誤

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 4

薬事法に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 薬局開設者は、店舗による医薬品の販売のほか、配置による医薬品の販売も行うことができる。
- イ 日本薬局方に収載されている医薬品の中には、一般用医薬品として販売されているものはない。
- ウ 第三類医薬品とは、保健衛生上のリスクが低い一般用医薬品であり、副作用等により身体の変調や不調が起こるおそれがない医薬品である。
- エ 店舗販売業の店舗管理者が薬剤師である場合には、第一類医薬品を登録販売者が販売できる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	正
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	誤	誤

問 1 1 5

以下のうち、一般用医薬品の直接の容器への記載が義務づけられている事項として、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 製造業者の氏名又は名称及び所在地
- イ 有効期限
- ウ リスク区分を示す識別表示
- エ 日本薬局方に収載されている医薬品については「日本薬局方」の文字等

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 6

医薬品の広告に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア 未承認の医薬品は、効能効果に関する広告が禁止されている。

イ 一般用医薬品の広告の際、同じ有効成分を含有する医療用医薬品の効能効果をそのまま標榜^{ぼう}してもよい。

ウ 漢方処方製剤の効能効果について、配合されている個々の生薬成分の作用を挙げて説明することは不適當である。

エ 医薬品の効能効果又は安全性について、最大級の表現を行うことは不適當とされている。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	正
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	誤

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 7

以下の記述は、薬事法第66条第1項及び第2項の条文である。()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

何人も、医薬品、医薬部外品、化粧品又は医療機器の名称、(ア)、効能、効果又は性能に関して、明示的であると暗示的であるとを問わず、虚偽又は誇大な記事を広告し、記述し、又は流布してはならない。

2 医薬品、医薬部外品、化粧品又は医療機器の効能、効果又は性能について、(イ)その他の者がこれを保証したものと誤解されるおそれがある記事を広告し、記述し、又は流布することは、前項に該当するものとする。

	ア	イ
1	製造方法	薬剤師
2	製造方法	医師
3	用法用量	専門家
4	用法用量	薬剤師
5	用法用量	医師

問 1 1 8

以下の記述は、薬事法第54条の条文の一部である。()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

医薬品は、これに添付する文書、その医薬品又はその容器若しくは被包（内袋を含む。）に、次に掲げる事項が記載されてはならない。

- 一 当該医薬品に関し(ア)又は誤解を招くおそれのある事項
- 二 第14条又は第19条の2の規定による(イ)を受けていない効能又は効果
- 三 保健衛生上危険がある用法、用量又は(ウ)

	ア	イ	ウ
1	虚偽	承認	使用期間
2	虚偽	許可	使用期間
3	誇大	許可	有効期限
4	誇大	承認	有効期限
5	誇大	許可	使用期間

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 9

薬事法に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 都道府県知事は、薬局開設者が薬事法の規定を遵守しているか確かめるために、薬事監視員に立入調査を行わせることができる。
- 2 都道府県知事は、医薬品を業務上取り扱う者に対し、不正表示医薬品について、廃棄、回収その他公衆衛生上の危険の発生を防止するに足る措置を採るべきことを命ずることができる。
- 3 都道府県知事は、医薬品販売業者について、その者に販売業の許可の際に付された条件に違反する行為があったときは、その医薬品販売業の管理者に対して、その条件に対する違反を是正するために必要な措置を採るべきことを命ずることができる。
- 4 都道府県知事は、配置販売業の配置員が、その業務に関し、薬事に関する法令又はこれに基づく処分に違反する行為があったときは、その配置販売業者に対して、期間を定めてその配置員による配置販売の業務の停止を命ずることができる。

問 1 2 0

店舗販売業の許可基準のうち、都道府県知事（その店舗の所在地が保健所を設置する市又は特別区の区域にある場合は市長又は区長）が許可を与えないことができる場合に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 許可申請者が、薬事法第75条第1項の規定により許可を取り消され、取消の日から3年を経過していない者であるとき。
- イ 許可申請者が、心身の障害により店舗販売業者の業務を適正に行うことができない者として厚生労働省令で定めるものであるとき。
- ウ 許可申請者が、成年被後見人又は麻薬、大麻、あへん若しくは覚せい剤の中毒者であるとき。
- エ 許可申請者が、禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった後、3年を経過していない者であるとき。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	正	正